

漢文大藏經の時期区分と特徴について

方廣鋈

(上海師範大學)

一 漢文大藏經の時期区分およびその他

寫本期、版本期、近現代の印刷本期、デジタル化期

第一 漢文大藏經の定義：一定の基準により取捨選擇され、一定の基準による構造をもち、あわせて一定の外部標識をもつ漢文佛教典籍および關係する文獻の叢書

第二 「漢文大藏經」ということばの適用範圍

第三 漢文大藏經の變化を促成した要素

(一) 中國佛教による原因 (二) 佛教以外の原因 (三) 編纂人員による原因

(四) 體裁と製作方式による原因 (五) 裝丁形式による原因

二 漢文大藏經の各時期の基本的な特徴

(一) 寫本期

漢文大藏經の寫本期はおよそ六段階に分けることができる

1 育成段階 2 形成段階 3 構造が體系化した段階 4 全國で統一化した段階

5 版本と併存していた段階 6 純功德段階

寫本大藏經の基本的な特徴—唯一性

第一 行格、界欄および全體の風格の差違 第二 文字の差違

第三 經文の差違 第四 内容と構造の差違

系統と目録

(二) 版本期

版木、版本と版本學

遼大字藏

(三) 印刷本期

第一 排印本

1 鉛印(鉛活字をならべ紙型をつくる) 2 寫眞植字(フィルム出力)

第二、影印本

1 排列をかえていないもの 2 排列をかえてしまったもの

(四) デジタル化期

第一 初歩的な段階

1 スキャンした本 2 電子テキスト

第二 高度な段階

1 一般的なハイパーテキスト 2 雙方向的なハイパーテキスト

方廣鋈 FANG Guangchang ほう・こうしょう

1948年生

上海師範大學哲学系教授 博士(中國社會科学院研究生院)

主要著作 《佛教大藏經史(八～十世紀)》 《敦煌文獻分類録校叢刊・敦煌佛教經録

輯校》 《英國圖書館藏敦煌遺書目録(斯6981號～斯8400號)》 ほか多數